

<p>評定判断基準</p> <p>A・・・達成率90～100%</p> <p>B・・・達成率70～89%</p> <p>C・・・達成率60～69%</p> <p>D・・・達成率60%未満</p>

令和2年度 学校関係者評価

中津市立三郷小学校

1 学校の教育目標: 身につけた「力」を活かし「深く考え」意欲を高めて「挑戦」する 三郷っ子
 2 育成を目指す資質・能力: 深く考える力・思いを発信し、行動する能力

計画 (4月6日)			確認・検証 (7月29日)	学校関係者評価 (8月28日)		
重点目標	達成指標	重点的取組 取組指標	達成指標・取組指標 の妥当性を検証	評価	意見・要望等	
<p>基礎学力・基礎体力の向上</p>	<p>○児童アンケートで、「授業で学習したことを振り返り、考えや分かったことを言ったり書いたりすることができた。」◎○と回答する児童の割合を80%以上</p> <p>○児童アンケートで、「三郷チャレンジに取り組んで、自分の体力を向上させることができた。」と回答する児童の割合80%以上</p>	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふり返りやキーワードによる基礎学力の定着。 ○言葉による表現力の向上 	<p>達成指標・・・妥当</p> <p>・ふり返りチェックシートの言葉を焦点化して自己評価しやすくする。</p> <p>・発表の語型が不十分であるので、2学期重点的に指導する。</p> <p>・体力づくり＝柔軟とつながらない。自己評価しやすくする。</p>	B	<p>○C層の学力向上に努力していることは、すばらしい。</p> <p>○安全安心な環境で基礎学力の定着に頑張っている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大予防のための休校等で大変ストレスがかかったと思う。振り返りながら、学習を進めて欲しい。</p> <p>○重点目標達成に向けて、計画的に実践されていることがよく分かる。</p> <p>○小学校で語型を意識して話す習慣が、中学生の様子からも分かる。</p>	
		<p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもが家庭学習に集中できる環境づくり ○子どもが健康のために生活習慣を見直す実践。 				<ul style="list-style-type: none"> ○全校児童が、体力テストで課題のあった項目を改善する取り組みを、毎朝のOGM-F(グッドモーニング・フィットネス)で取り組む。 ○家庭学習チェックシートの取組に参加し、感想を書く。 ○生活チェック週間は、特に「親子でメディアコントロール」に協力する。
		<p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力強化での学習支援 ○体育的行事への応援 				<ul style="list-style-type: none"> ○体育環境の支援に参加・参画する。(運動場の整備、器具や道具の整備など)
<p>言語能力・活用力の育成</p>	<p>○児童アンケートで、「言葉の力」 ①読書力 ②話す力 ③聞く力 ④書く力 ⑤読む力 がついてきた◎○と回答する児童の割合80%以上</p> <p>※強化学期 1学期・・・①③⑤ 2学期・・・①②④ 3学期・・・①⑤④</p>	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「言葉の力」をつける取組。 	<p>達成指標・・・妥当</p> <p>①③⑤平均79%</p> <p>取組の継続</p> <p>取組指標・・・一部訂正 コロナの影響を加味し、アンケートの文言を以下の通り訂正。 「言葉の力をつけるために、ペア・グループ学習またはそれに見合った取組を行うことができた」 すべて取組は継続 週末読書カードの保管・還元方法の検討が必要。</p>	B	<p>○「語学力」に焦点化したのは、大変良い。</p> <p>○これからの世界で活躍していくために必要な能力である。</p> <p>○子どもの言葉づかいは大人が影響している。家庭での会話や声かけが大切なことを保護者に伝えていきたい。</p> <p>○言葉の力をつける取り組みは、他者との関わりのためにも必要である。</p>	
		<p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭内で会話を増やし、子どもが読書を取り組むための声かけ。 				<ul style="list-style-type: none"> ○週末読書の声かけをし、子どもたちの取り組みを見守る。
		<p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活科、総合的な学習の時間で、GT(すぐすプロジェクト、森林体験学習)を活用した場面設定。 				<ul style="list-style-type: none"> ○生活科、総合的な学習の時間における計画をたてる。 ○GTとの打ち合わせ
<p>意欲的な行動する力の育成</p>	<p>○三郷っ子スピリッツチェックカードで、三郷っ子スピリッツ 1. あいさつ 2. 返事 3. 言葉づかい 4. 整理整頓 5. 時間 について、◎○と回答する児童の割合90%以上</p> <p>○児童アンケートで、「言葉の力や発表の語型をいかして、授業の振り返りや児童集会・朝会・行事等で発表することができた。」と回答する児童の割合70%以上</p>	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○きまりを守り、友だちとの関係を大切にすると学級集団づくり。 ○各学年毎の会で、「学級ほめタイム」を実施する。 ○月初めの児童集会で、「全校ほめタイム」を実施する。(同じく以上は「メンバー」) ○ほめほめの実を記入・掲示する。 	<p>達成指標・・・取組めたものについては妥当。</p> <p>スピリッツチェックカードについては100%。</p> <p>児童アンケートで、「言葉の力や発表の語型をいかして、授業の振り返りや児童集会・朝会・行事等で発表することができた。」については、集会等がもてなかつたため、言葉の力や発表の語型をいかせなかつたのが発表がでなかつたのか捉えられなかつた。→アンケートの文言の改善が必要。</p>	B	<p>○意欲を持って楽しく学校に通えることを保護者は望んでいる。小さなことでも褒めることは大事である。</p> <p>○保護者との信頼できる関係づくりによって、子どもが伸びる。</p> <p>○人間関係が重要であり、豊かな心・人間性を地域と一緒に作り上げたい。</p> <p>○タブレット端末をより活用して欲しい。学校、家庭それぞれでルールを作る必要がある。</p> <p>○子どもたちの表情や様子が良く、取り組みがうまくいっていると感じた。</p> <p>△児童の自己表現の場を多く持って欲しい。</p> <p>△「ほめほめの実」の対象は、いつも同じ子どもになることなく、皆を対象にして欲しい。</p> <p>●あいさつが最近悪い。声小さく、上級生が悪い。</p>	
		<p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭内で三郷っ子スピリッツの励行。 				<ul style="list-style-type: none"> ○各学年の代表の児童が、月に2回の児童集会で、生活目標の具体的な取り組みと反省発表の語型やタブレット等を使って発表する。 ○児童集会・行事・掃除・学級などで、週に1回以上、感想発表の場を設ける。 ○各学年で、発表についての振り返りの場を週に1回以上設ける。
		<p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ・声かけ運動の推進。 				<ul style="list-style-type: none"> ○PTA体育校外指導部を中心としたあいさつ運動に1回は参加する。 ○「スピリッツがんばりカード」の取り組みに参加し、感想を書く。
<p>時間外勤務の削減</p>	<p>○1箇月の時間外在校等時間を40時間以内にする。</p>	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画的・効率的に会議を運営し、個別業務に充てる時間を確保するとともに、各担当の業務内容を精選する。 <p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時間外のPTAや地域協育等に関する会議等の実施について、内容を精選し、妥当な終了時間を設定する。 <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミドルリーダーは、提案内容について適量・指導・助言を行い、提案内容の精度を上げる。 	<p>達成指標・・・妥当・継続</p> <p>取組指標・・・継続</p> <p>学校再開後及び、学期末は、時間外勤務や持ち帰りの業務が増加している。</p> <p>2学期には、先送りした行事も控えているため、計画的・効率的に日々の業務を遂行しなければならぬ。</p>	A	<p>○削減は厳しいと思うが、ぜひ実現して欲しい。</p> <p>○子どものためにも教師の健康が大切、新しい働き方を進めて欲しい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策が求められている今、働き方を見直す良い機会である。</p>	

チームやまくにめざす児童・生徒像

〇〇〇〇
 地心自
 域身他
 礎にの
 をを基
 誇健尊
 本りを
 をとし
 大も体
 切つ力
 思にの
 いし児
 童向や
 ・上り活
 生にと用
 徒努感
 力め謝を
 るの身
 見気
 童持つ
 ちけ・生
 をも主
 つ体的
 児童・学
 生自己
 表現で
 できる
 児童・生
 徒

習得】
 空きて働く知識・技能の

力・判断力・表現力等の育成】
 栄知の状況にも対応できる思考

学びを人生や社会に生かそうとする
 学びに向かう力・人間性等の涵養】

【働き方改革の推進】